

# Wi-Fiカメラ (TSP-WCSシリーズ) デモ時の流れと注意点

2022年4月

株式会社TSP ソリューション事業部



# ◆デモの主な流れ

- 1、カメラの設置位置の確認
  - 2、モニターレコーダーの設置位置の確認
  - 3、機器立ち上げ
  - 4、電波状況の確認
  - 5、シャットダウン
- ◆補足

# ◆事前準備

## 【用意するもの】

- ・Wi-Fiカメラセット(モニターレコーダー、カメラ、ACアダプター、マウス・LANケーブルなど付属品)
  - ・延長コード(必要に応じて)
  - ・電源バッテリー(必要に応じて)
- カメラの設置希望位置付近に100Vコンセントが無い場合に役立ちます。  
小型のモバイルバッテリーでOKです。

## 【事前確認のお願い】

お客様先訪問前に一度機器を立ち上げ、故障がないかなど事前確認をしてください。

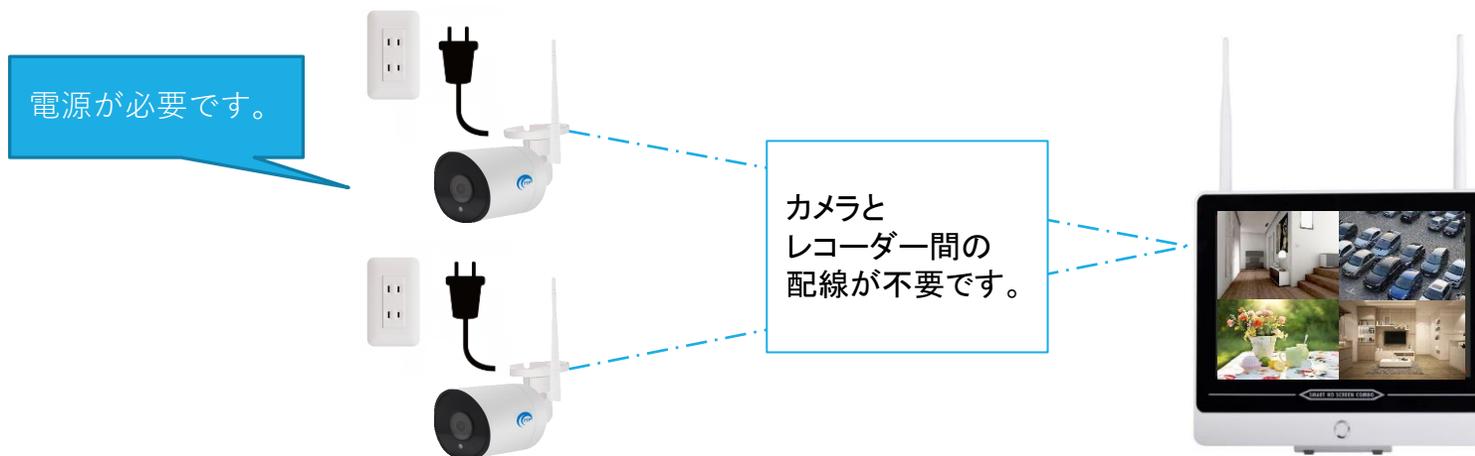


# 1、カメラの設置位置の確認

→どこを監視したいか、どこに設置したいか、希望の位置をヒアリングしてください。

◆電源位置(100V)も同時に確認してください。

モニターレコーダーとの配線は不要ですが、カメラへの給電(電源配線)は必要です。

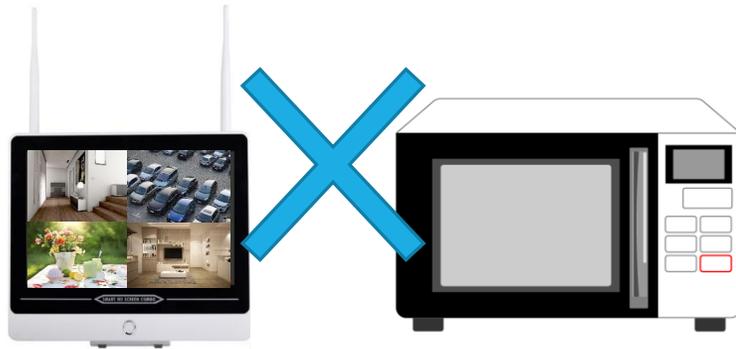


# 2、モニターレコーダー設置位置の確認

→モニターレコーダーの置き場の確認を行ってください。

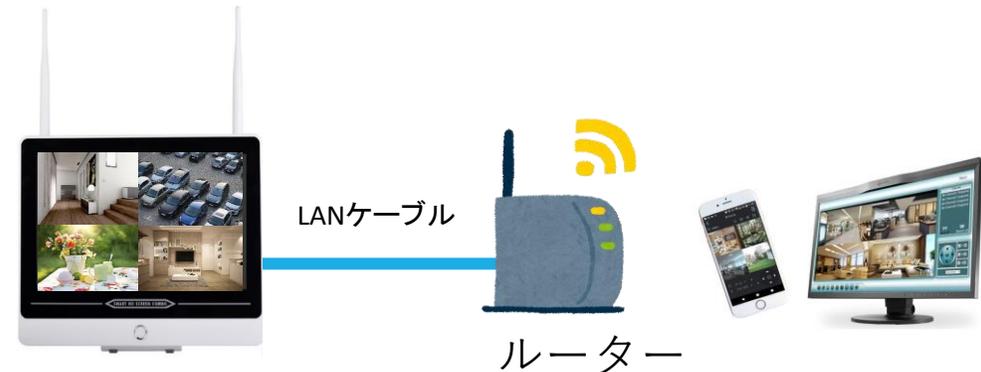
## 【ポイント①】

電子レンジの影響を受けやすいので、  
電子レンジ付近や電子レンジがあるお部屋への  
設置は避けてください。



## 【ポイント②】

遠隔閲覧を行う場合、モニターレコーダーとルーター間を  
LANケーブルで接続する必要があります。  
遠隔閲覧をご希望のお客様の場合は、  
ルーター近くへの設置を推奨いたします。



# 3、機器立ち上げ

①モニターレコーダーとカメラを、**モニターレコーダーの設置希望位置で電源を入れてください。**  
※電源ボタンは無く、ACアダプターで電源接続しますと自動で立ち上がります。

②**カメラの映像が映ることを確認したら、カメラを実際の設置希望位置に移動させて電源を入れてください。**(移動後に映像が映らない場合は電波が届いていない可能性が高いため、カメラもしくはモニターレコーダーの位置変更を検討してください。)

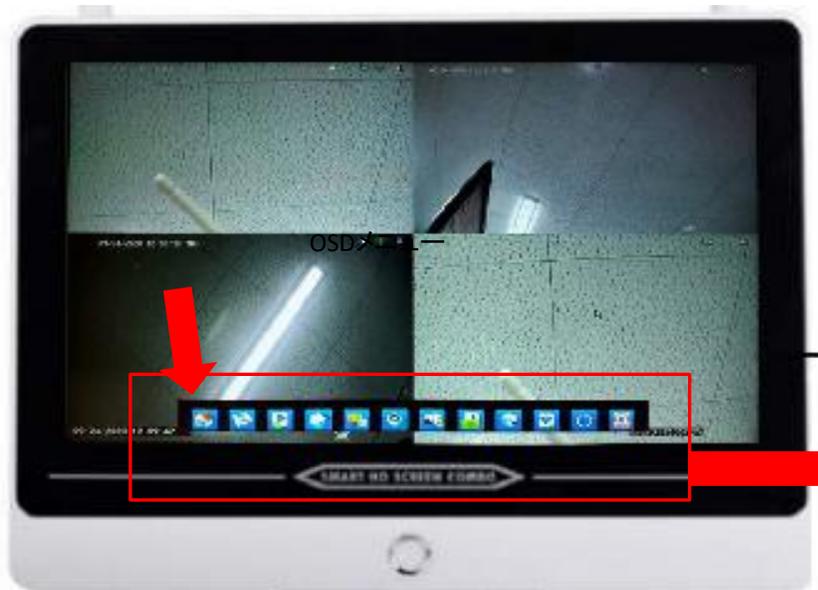


ACアダプター接続可能なモバイルバッテリーがあると、デモ時のカメラ電源位置を気にせず自由に位置を変えることができるため、とても便利です。



# 4、電波状況(信号レベル)の確認

モニターレコーダーとカメラを設置希望位置で立ち上げましたら、電波状況の確認を行います。  
無線設置の可否の判断のための作業です。



- ①マウスの右クリックでOSDメニューを表示させ、メインメニューを左クリックで選択

※以下、左クリックでの操作となります



## 4-2

② 【ネットワーク設定】を選択

③ 【Wireless設定】を選択

2

ネットワーク設定

3

Wirelessバージョン T8188S

BSSID 08:3A:2F:4B:28:CB

ESSID NVR083a2f4b28cb

パスワード 88357093

Wirelessチャンネル 13

領域 MKK

適用チャンネル

更新

接続

チャンネル	MAC アドレス	信号
CH2	9c:a3:a9:a4:b5:5c	64:59
CH3	9c:a3:a9:9b:94:bd	60:58
CH4	9c:a3:a9:aa:45:18	89:78
CH1	9c:a3:a9:a5:d1:32	74:72

適用 [OK] 取り消し

2022/04/11 17:46:44

こちらの信号レベルを確認します。

## 4-3 信号レベルの数値の見方と判断

接続

チャンネル	MAC アドレス	信号
CH2	9c:a3:a9:a4:b5:5c	64:59
CH3	9c:a3:a9:9b:94:bd	60:58
CH4	9c:a3:a9:aa:45:18	89:78
CH1	9c:a3:a9:a5:d1:32	74:72

更新

各カメラの信号レベルが表示されます。  
各カメラにつき、二つの数値が表示されます。  
高い値が「最高値」、低い値が「最低値」です。

※--と表示された場合、最低値は0に近い、  
又は信号無しという表示です。

(左図のCH2の場合、最高値が64、最低値が59という意味です。)

レベルは変動しますので、  
数回【更新】をクリックして、信号レベルを確認してください。

★各カメラの**最低値**が「**30以上**」になる場所にカメラ、モニターを設置してください。

★30未満の場合、通信が不安定となり、映像が途切れる、表示されなくなる等の現象が発生する可能性が高くなります。

※30以上というのはあくまで推奨値です。

※電波の性質上時間経過や周辺環境の変化によってレベルが変動する可能性があります。

## 4-4 信号レベル確認時のご注意

遮断物によって、信号レベルは変動します。  
ブラインドやシャッター、ドアがある場合は、全て閉めた状態で確認してください。



屋外設置の場合は特に  
雨戸やシャッターに注意してください。  
(見落としがちです。)

信号レベルが推奨値に満たない場合、中継機追加や  
カメラのリピーター機能で、距離の延長が可能です。  
詳細は担当営業にご相談ください。



# 5、シャットダウン

電源オフ時は、必ずシャットダウン作業を行ってください。  
シャットダウンを行わないと、HDD故障の原因となりますのでご注意ください。



# ◆補足

- ・**同場所に2セット設置は原則不可**としております。電波干渉が起こる可能性があるためです。  
※2セット設置の場合、片方を有線にするなど手段はありますが、一度担当営業にご相談ください。
- ・信号レベルが低い場合、中継機の利用や、カメラの中継機能を使用する手段もございます。  
担当営業にご相談ください。
- ・本機は、設定の変更で有線接続も可能です。電波信号レベルが低く不安定な場合や無線接続に不安がある場合は、有線接続を推奨いたします。  
※モニターレコーダーのLANポートが1口のみのため、カメラ2台以上を有線接続する場合は別途HUBが必要です。
- ・デモ時の理想は、お客様先に数日間(できれば1週間)設置し、録画状況に問題ないか確認していただければ確実です。もし可能であれば、数日間仮設置しての検証をしてください。
- ・遠隔閲覧のデモを行う場合は、別紙「P2Pクイックマニュアル」をご参照ください。

